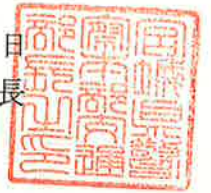


公益社団法人  
宮城県トラック協会会長 殿

令和元年10月2日  
宮城県警察本部交通部長



謹 啓

錦秋の候、貴職には、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

貴会の皆様方には、日頃から警察行政各般にわたりまして深い御理解と御協力を賜っておりますことに対しまして、心から感謝申し上げます。

さて、本県の交通死亡事故は、近年、減少傾向を示し、昨年も交通事故死者数の抑止目標を達成するなど、一定の成果を挙げてきたところでありますが、本年は、7月に交通死亡事故が多発し、県知事による緊急事態宣言が発令され、県民を挙げて交通死亡事故抑止に全力で取り組み、何とか落ち着きを取り戻したところでございます。

ところが、9月に秋の交通安全県民総ぐるみ運動が始まると、再び、県内各地において交通死亡事故が連続発生し、10月1日現在、45件の交通死亡事故が発生し、47人もの尊い命が失われるなど、極めて厳しい状況に陥っております。

これら最近の交通死亡事故の特徴は、主に夕方の時間帯等に、三桁国道等の幹線道路において、車両同士の正面衝突や車両単独で工作物等に衝突する事故のほか、横断歩道のない道路を横断していた歩行者や自転車利用者が車にはねられるなどの形態の事故が目立っていることが挙げられます。

このため、悲惨な交通事故から身を守るため、運転者としては、速度超過、信号無視、横断歩行者妨害等の危険な違反行為は絶対に行わず、歩行者・自転車利用者としては、安全確認が不十分なままの無理な横断等、重大事故に直結する危険な行為を行わないように全ての会員に対し注意喚起をお願いしたいのであります。

加えて、車両に乗車する場合は、全席確実にシートベルトを着用するほか、やむを得ず、夜間に外出する際は、反射材用品等を身に付けるなど、安全な行動を徹底するよう御指導、御助言いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

県警といたしましても、この異常な交通死亡事故連続発生傾向に歯止めをかけるべく、幹線道路等での交通指導取締りをより一層強化するとともに、パトカー、白バイ等による見せる警戒活動を徹底して、道路利用者の皆様方に適度な緊張感を保持していただき、重大事故抑止のために全力を尽くしてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

季節の変わり目でもございますので、どうか御自愛いただきますようお祈り申し上げますとともに、悲惨な交通死亡事故を減少させるために、是非ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

謹 白



# 夕暮れ時が要注意！！

## ラ・ラ・ラ運動の実践

令和元年10月1日～令和2年1月31日

# ラ

## ライト・オン

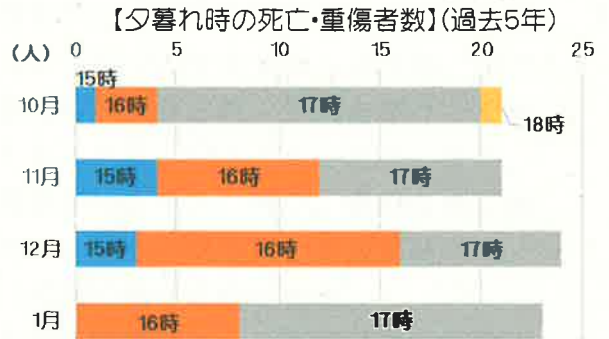
### L I G H T ・ O N ～ 早めのライト点灯

○年末にかけて日没時間が早まります。

運転者は、早めの点灯に努めましょう。

○ライトは上向きが基本、対向車がある場合等状況に応じてこまめに切替えましょう。

○スピードを抑え、横断歩行者等の早期発見に努めましょう。



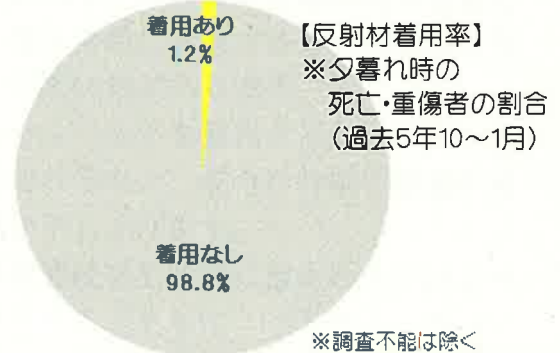
# ラ

## ライト・アップ

### L I G H T ・ U P ～ 目立つ装備・服装

○歩行者は、横断歩道、信号機等を利用した正しい横断をしましょう。

○白や黄色など目立つ色の服装、反射材やLEDライトの有効活用をしましょう。



# ラ

## ライト・ケアフル

### R I G H T ・ C A R E F U L ～ 右側注意

○運転者は、進行方向の右側から横断する歩行者に注意しましょう。

○歩行者は、横断後半の左側からの車両に注意しましょう。

【夕暮れ時の横断歩行者の進行方向別割合】  
※第1当が直進中のみ (過去5年10～1月)

